

## 各委員会・分科会での主な審査概要

### 総務企画委員会・分科会

**質** 令和6年度一般会計予算について、予算規模が過去最大となった要因は。

**答** 主な要因は、一般廃棄物処理施設整備事業に伴う能代山本広域市町村圏組合への負担金、万町住宅の建て替え、総合体育館の大規模改修等の大規模事業によるものである。また、人件費の増額も要因の一つである。

**質** ふるさと納税寄付金を増額計上した理由は。

**答** 国の基準改定の影響もあり寄附額が伸びていない状況にあつて、昨年10月から関係業務を外部委託し、寄附金の増額に向けて様々な取組を進めており、4年度実績のおよそ1.5倍を見込んだものである。

**質** リンクトの能代プロジェクトの概要は。

**答** 移住を具体的に検討する前段階で、本市を認知している方や魅力を感じている方、来訪経験のある方へアプローチを行い、関係人口を創出していきたく考えている。このた

め、移住促進・関係人口等創出補助金を創設し、主に、都市部在住者と本市在住者が交流できるようなイベントを開催する民間団体が行う事業に対して、補助金を交付しようとするものである。



移住定住推進課

**質** ふるさと納税推進費に関し、委託事業者と市の役割をどのように分けているのか。

**答** ふるさと納税の受付や問合せ、クレーム対応等のほか、返礼品事業者の対応などを委託し、市は、窓口対応のほか、市独自で返礼品開発の

働きかけなどを行っており、委託事業者と随時協議しながら取組を進めている。

**質** 企業連携事業費に関し、地域おこし協力隊活動業務委託料を6名分見込んでいるが、どのように採用を進めていくのか。

**答** 従来の協力隊とは異なり、秋田印刷製本株式会社とNEXTVISION株式会社が設立するコンソーシアムに、地域おこし協力隊に関する業務を委託したいと考えている。当該コンソーシアムが首都圏において、地方で生活し、ITに関する業務を行いたいという方に呼びかけ、地域おこし協力隊員の採用を進めていきたいと考えている。

**質** 防災対策費に関し、5年7月の大雨災害が、予算編成にどの程度影響しているのか。

**答** 当初予算においては、5年度と同程度であるが、現在、大雨災害を踏まえた検証を行っている。今後、検証を踏まえ計画的に備蓄品の充実に努めるほか、防災対策の取組についても検討を行うこととしている。

(鍋谷 暁)

## 文教民生委員会・分科会

**質** すまいる・めんchoco定期便事業費の内容は。

**答** ゼロ歳児を育児中の家庭に対し、生後3か月から1歳までの間に、2か月に1回、最大5回、定期的に育児用品を配達しながら保護者や子供の見守りを行う事業であり、従来のめんchoco誕生事業を統合し、誕生記念品も併せて配達しようとするものである。

**質** 帯状疱疹予防接種費が前年度より増額となっている理由は。

**答** 65歳以上を対象としていたが、6年度から50歳以上に対象年齢を拡充することに加え、ワクチン接種に対する助成額も引き上げたことから増額したものである。

**質** 奨学金返還助成事業費に関し、助成額を拡大した狙いは。

**答** 本制度の対象者は、奨学金を返済する市内就労者で、20歳代から30歳代の結婚や出産を控えている、または子育て中の世代となっており、経済的負担を今よりも減らすことにより、子どもを生み育てやすい環境の向上と働き手の確保につながるため、拡大するものである。

**質** 統合型校務支援システムの内容は。